

港北区の「活動」をつなぐ情報誌

# 楽らく遊ゆう学がく

第309号

2024(令和6)年2月  
隔月発行

【編集・発行】港北区区民活動支援センター

## 特集

歌を通じて人をつなげ、地域をつなげる  
「港北童謡の会」



(港北童謡の会の皆さん)

- P.2 特集「港北童謡の会」
- P.3・4 「わがまち港北」スポット 新羽地域ケアプラザ・コミュニティハウス
- P.5 遊学スポット（港北区内・周辺のイベント情報）  
『港北区グループ・団体ガイド』登録グループからの会員募集  
花と緑でつながるこうほく（グリーンコーポ篠原 花と緑の会）
- P.6 区民活動支援センターからのお知らせ

毎月第3火曜日の午後、区役所に隣接した港北公会堂ホールで開催される「港北童謡の会」。チケットも予約も不要。当日直接会場に来ればどなたでも参加OKという歌う会(有料イベント)をかれこれ17年以上、毎月コツコツと積み重ね、去る12月で180回目を迎えました。毎回、異なる声楽家の指導の下、懐かしの歌謡曲から季節の童謡まで、様々なジャンルの歌をお腹の底から声を出して歌うことで、身体中ポカポカと温まり、活気に溢れ、自然と笑顔になると言います。コロナ禍の苦難を経て、さらに進化を続ける「港北童謡の会」の取り組みをご紹介します。

## 歌は、嬉しいとき、悲しいとき、どんな時でも支えになってくれるから

### ひとりひとりが明るい気持ちになれば、地域も明るくなる

港北童謡の会は、現代表の計屋珠江<sup>はかりや</sup>さんの「歌で地域を元気にしよう！」という発案に賛同した仲間が集まりスタートした活動です。「歌を通じてひとりひとりが明るく穏やかな気持ちになれば、地域も明るくなって、お互いが助け合える地域にできたらいいなと思ったの。」と計屋さん。当時は、フルタイムの仕事を持ち、なかなか思うように時間が作れなかった計屋さんに代わって「港北童謡の会」の代表を自ら進んで引き受けたのが前代表の吉田奈美子さんでした。「私が生みの親なら、吉田さんは育ての親なのよ。」と計屋さんが笑います。



歌う前の準備体操(2023年12月撮影)

吉田さんは、長きにわたり合唱文化を牽引し、3年前には、横浜文化賞を受賞した横浜合唱界のレジェンド。現在は「国際シニア合唱祭 ゴールデンウェーブ in 横浜」の理事長を務めています。そのキャリアから一流の声楽家・演奏家とのつながりも深く、質の高い歌唱指導が受けられると、「港北童謡の会」は徐々に人気を博し、リピーターも増えていきました。歌うだけでなく、外出する楽しみ、装う楽しみ、人と触れ合う楽しみが参加者に定着した結果、活動をスタートした頃は、50名ほどだった参加者も、気がつけば毎回250名以上が集まる会へと成長。大きく成長したところで、吉田さんから生みの親である計屋さんへバトンが渡されました。ところが、それから間もなくして新型コロナウイルス感染症が発生、残念ながら活動中止を余儀なくされてしまいます。

### 歌って楽しむだけではない、コロナ禍以降に始めたこと

コロナ禍では、ホールに集まって歌うことは、飛沫感染リスクを高めるという理由で許されなくなりました。後に、感染予防対策を徹底した上で再開するも、感染拡大に歯止めがかからず再びの中止へ。新型コロナウイルス感染症に翻弄される月日が続きました。



笑顔でお出迎える運営メンバーのみなさん

満を持して活動を再開したものの、参加者数はなかなか元に戻らず苦戦が続く中、毎回10~15名前後の運営メンバーが、舞台設営から受付、案内、片付けまでを互いに協力しながらいきいきと活動しています。

新しいことへのチャレンジも始めています。例えば、人と音楽をつなぐ開演前の「お楽しみミニライブ」。地域で音楽活動をしている方には発表の場を、参加者には、生演奏を聴く機会になると好評です。また、地域の作業所が販路の拡大を模索していると聞き、作業所連絡会と連携し、ロビーでお菓子や手工芸品を販売する場を提供しています。さらに、直近ではフードドライブにも協力。各家庭で使いきれない未使用食品を持ち寄ってくださいというチラシを、パンフレットにはさみこんだところ、多くの食品が集まったそうです。集まった食品は、区役所を経由して地域の福祉施設・団体などに寄贈されます。

「できることは何でもやろうね」とみんなで話しているんですよ、と計屋さん。「歌は心のビタミン」と、歌で地域を元気にする活動はこれからも続きます。



今年(2024年)5月に開所から10周年を迎える新羽地域ケアプラザ・コミュニティハウス。地域ケアプラザとコミュニティハウスの合築は珍しく、地域ケアプラザの特徴である「子どもから高齢者まで、地域の誰もが住み慣れた街で暮らせるよう、身近な福祉・保健・交流の拠点」としての役割と、コミュニティハウスの特徴である「地域の皆さまに身近な生涯学習や地域活動の場」の両方の強みが混ざり合った施設として、地域の方々のさまざまな活動に利用されています。最寄り駅からすぐ近く、立地条件にも恵まれた「新羽地域ケアプラザ・コミュニティハウス」の取り組みをご紹介します。



新羽地域ケアプラザ・コミュニティハウス外観

住 所:横浜市港北区新羽町1240-1  
 電 話:045-542-7207 FAX:045-531-7011  
 開館時間:月曜日～土曜日 9時～21時  
 日曜日・祝日 9時～17時  
 休 館 日:毎月第4月曜日  
 年末年始(12月29日～1月3日)  
 交 通:地下鉄「新羽駅」下車 徒歩約2分  
 バス停「新羽駅」下車 徒歩約2分

公式ホームページはこちら ▶

<https://www.y-kyousei.or.jp/nippa-cpch/>



## 地域の皆さん誰もが利用しやすい施設

5階建ての建物の中にはたくさんの機能があります。まず1階事務所では、地域包括支援センター・居宅介護支援として、ご高齢の方の相談に対応しています。2階のコミュニティハウスフロアは、サークル活動や生涯学習などに利用され、団体が利用していない時は学習室として開放しています。未就学児と保護者のためのプレイルームもあります。また交流ホールでは新羽小学校児童の作品展示を通じた地域交流も盛んで、赤ちゃんから年配の方まで多くの方が訪れるのも特徴です。

続いて3～4階のケアプラザフロアでは、地域活動やボランティア活動、子育てなど様々なサロンが展開しています。そして、5階には、障がいのある方の暮らしを支える地域生活支援センター海と海相談室(基幹相談支援センター・後見的支援)も入っています。



地域交流ホール



プレイルーム

## オレンジの輪プロジェクト2023



オレンジ大使講演会の様子

9月21日の「世界アルツハイマーデー」にちなみ、毎年この時期に「オレンジの輪プロジェクト」を実施しています。認知症の方もそのご家族も「誰もが安心して暮らせる町 新羽」として、地域の皆さんと一緒に認知症について考えています。認知症のシンボルカラーであるオレンジ色の鶴を折ってケアプラザに展示したり、ドキュメンタリー映画の上映会、認知症サポーター養成講座などを通じて認知症への理解の輪を広げていきます。取材日(10/22)は、認知症当事者である「かながわオレンジ大使」講演会でした。認知症だと自覚した瞬間の状況や、「認知症」の知識、早期発見、早期治療の重要性、家族との会話から理解を得るまでの過程などを聴きました。参加者の「知ることは大切、不安はあるがやれることをやっていきたい。」との前向きな感想も聞きました。

## 地域で育つ子どもと親が立ち寄れる 子育てサロン「たんぽぽにつぱ」

「たんぽぽにつぱ」は、活動を始めて20年になります。ボランティアスタッフが中心となり、1歳くらいから未就学児を対象に、手遊びやよみきかせ、制作活動を楽しみ、フリースペースの時間は交流を深めています。

当日は予約なし自由参加なので、ママたちは「ひさしぶり〜！」「はじめまして」の挨拶から始まります。自由に遊んだあと、この日は、普段家庭で使わない工作のりの感触を楽しみながら、紙コップを利用した「みのむし」を作りました。「常にいろいろな人がいて、話しをしたり、子どもたちも自由に遊んだり、そういう時間を一番大切にしています。」と、代表者のお話でした。



みんな一緒に、たかいたか〜い！

\*\*\*\*\*  
**活動日**  
**たんぽぽにつぱ**  
 第2・4火曜日  
 10:00～11:00  
 13:00～14:00  
**カフェ・どらんらん**  
 毎月6日  
 13:00～14:30  
 プログラム(音楽)  
 13:30～14:00  
 \*\*\*\*\*

## 地域の方にホッとひといき憩いの場 「カフェ・どらんらん」

「カフェ・どらんらん」は、新羽地域ケアプラザ主催の「コーヒーボランティア養成講座」の修了生が集まり、6年前に立ち上げた美味しいコーヒーとおしゃべりを楽しむサロンです。現在8名のコーヒーボランティアらんらのメンバーが運営しています。コーヒーは、豆を10gずつ丁寧に量り、時間を計って挽き、ハンドドリッパーで一杯一杯心を込めて淹れます。ボランティアによる音楽の生演奏もあります。取材日は、施設利用団体の「しふおん(パンづくり)」と「緑交響楽団」とのコラボイベントでした。軽やかなフルート三重奏の音色に耳を傾けながら美味しいコーヒーとパンをいただきました。



「カフェ・どらんらん」コラボイベント



「たんぽぽにつぱ」の皆さん



「コーヒーボランティアらんらん」の皆さん

「コーヒーボランティアらんらん」は横浜市、「たんぽぽにつぱ」は港北区の社会福祉大会の福祉活動功労団体として表彰されました。

## につぱらつぱフェスティバル

昨年(2023年)11月25日(土)、26日(日)に、「につぱらつぱフェスティバル」が開催されました。登録団体によるダンス、太極拳、コーラス、絵手紙、水彩画、草木染、朗読、スイーツ・パン作りなどの活動体験や作品展示、保健活動推進員による健康チェックなどに、子どもからシニアまで多くの人々が楽しく参加しました。他にも作業所によるマルシェや子ども向けお楽しみコーナー、横浜市営バスのミニバス乗車などもあり、全館あげて盛りだくさんの2日間でした。



につぱらつぱフェスティバルの様子



©港北区ミズキー



# 游学スポット(港北区内・周辺のイベント情報)

ここに掲載されている内容は、2023(令和5)年12月26日現在の情報です。詳細は、問合せ先にご確認ください。

## 薬膳健康づくり研究会

「生命力と腎」～補腎の大切さ～(仮) 講師:医学博士 辰巳洋氏  
日時:2月14日(水)14:00～16:00(受付13:30)  
会場:ウィング横浜502研修室 ※録画配信あり  
参加費:会員1,500円、一般2,000円  
申込:2月13日まで(定員先着80名)  
問合せ:和田 TEL 331-1109/090-4385-5592 (ホームページから申込み)



## 神奈川区いまむかしガイドの会「神奈川歴史散歩」

①3月2日(土)「都筑の古刹」(約5.0キロ)  
集合:市営地下鉄 仲町台駅改札口  
②3月16日(土)「川崎宿」(約4.0キロ)  
集合:JR川崎駅中央南改札口  
③3月30日(土)「小机城址」(約4.5キロ)  
集合:JR横浜線小机駅改札口  
④4月13日(土)「妙蓮寺・篠原」(約5.5キロ)  
集合:東急東横線 妙蓮寺駅東口改札口  
時間:(集合)8:30～9:00 (解散)12:00～12:30  
参加費:500円(保険料含)  
定員:約120名(応募者多数の場合は抽選)  
申込:HPの応募フォームまたは往復はがきに開催日・コース名・〒・住所・氏名・電話番号・参加者全員の氏名を記入の上、〒221-0802 神奈川区六角橋1-10-11 すぺーすろっかく内「NPO法人神奈川区いまむかしガイドの会」  
締切日:①2月19日 ②3月1日 ③3月15日 ④3月29日  
問合せ:長谷川 TEL 090-8817-0001



## 港北童謡の会

幼き頃の思い出の歌、心に残る懐かしの童謡唱歌をご一緒に  
日程:①2月20日(火) 近野桂介先生  
②3月18日(月) 鶴飼文字先生  
時間:各回14:00～16:00 会場:港北公会堂  
参加費:990円(事前申込不要)  
問合せ:はかりや TEL 070-5556-1491  
山本 TEL 090-6924-4650 竹内 TEL 090-6521-5879



## 港北図書館友の会「読書サロン」

①2月25日(日) 個人の作家を楽しむ「松本清張」  
②3月24日(日) 夢と現実の世界「夢の物語」  
時間:各回 13:30～16:30  
参加費:無料  
会場:港北図書館2階会議室 当日直接会場へ  
問合せ:事務局 TEL 423-2223(八木クリニック内)



## 大倉山ジョイフルコンサート

「藤原晶世×開原由紀乃×藤原秀章 アンサンブルで彩る  
日 時:3月17日(日) 14:00開演(受付開始13:30) 春の訪れ」  
会場:港北公会堂 ※全席自由  
料 金:大人2,000円、高校生以下1,000円  
未就学児入場不可 予約専用電話:080-8424-5108  
問合せ:HP <https://www.ohkurayama-joycon.com>



# 『港北区グループ・団体ガイド』登録グループからの会員募集

## 着付けサークル

寝かせたまの着物をもう一度着てみませんか。初心者も大歓迎!  
日時:月1～2回、9:45～11:45(曜日は問合せ) 会費:問合せ  
会場:篠原地区センター、城郷小机地区センター、菊名コミュニティハウス 問合せ:浜口 TEL 045-432-4550

## 港北食事サービス W.Co とまと

有料老人ホームの調理メンバー(有償ボランティア)募集! 研修あり。  
日 時:週2～3回。日祝も可。3時間枠・6時間枠(選択自由)  
会 場:きらり港北(新羽町)  
問合せ:堀江 TEL 080-7224-2207 堀 TEL 080-3129-0091

## 畑っこ・新羽の会(野外活動)

年間で10種前後の野菜を共同で育成します。野菜の育成方法を指導しますので、お気軽に参加ください。参加条件は ①年間に10回程度の共同作業や20回程度の自主作業ができること。  
②PCまたはスマホでメール送受信やWEBでの登録操作ができること。  
会場:新羽町の100坪の畑、折本町の50坪の畑  
対象:港北区、都筑区在住の家族  
募集:5家族程度 年会費:9,000円/家族  
申込・問合せ:hatakekkko-entry@googlegroups.com



「游学スポット」掲載希望の方へ  
次号は310号(2024年4・5月発行号)です

「游学スポット」ならび「登録グループからの会員募集」の締切は  
**2月28日(水)**です。概ね4月10日～6月10日迄のイベント情報をお寄せください。詳しくは区民活動支援センターまで!



グリーンコーポ篠原 花と緑の会の皆さん

花と緑 でつながるこうほく ～グリーンボランティア活動～

## 【グリーンコーポ篠原 花と緑の会】

集合住宅敷地内の中庭で、月3回、日曜日の午前中に活動しています。今年で発足14年目。憩いの広場の緑化と、住民同士の交流・健康にも一役買っています。  
2021年によこはま緑の推進団体(市内で約800団体が登録)の<最優秀活動賞>を受賞しました。



季節のしつらえ(12月撮影)

ボランティアに関するお問合せ 西山 045-432-3096

# 区民活動支援センターからのお知らせ

## 遊学スポット及び会員募集情報の掲載が変わります！！

楽遊学の2か月ごとの発行に併せて掲載していました団体のイベント情報(概ね発行月の10日から翌々の10日までのイベント)及び『登録グループ・団体の会員募集』情報は、第310号(4月1日発行号)を以て紙面での案内を終了し、ウェブ(区民活動支援センターのホームページ)での案内に移行します。  
掲載希望の受付も1か月ごととなり、よりご利用いただきやすくなります。  
詳しくはホームページまたは次号の楽遊学でご確認ください。

(これまで)



(これから)



## 花と木のウォーキングツアー

募集中!!

第5回 春風の中 桃の里綱島を巡る (行程:約4.5km)

実施日:3月8日(金) 集合時間:9:30 集合場所:東急東横線 綱島駅 改札前

参加費:500円(保険料・資料代等) 募集人数:60人(応募多数の場合は抽選)

応募方法:応募フォームまたは往復はがきの往信面に①ツアー名「花と木5」②〒・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号(複数人の応募の場合は全員の氏名(ふりがな)・年齢)③返信面の宛名にご自身の〒・住所・氏名をご記入の上、区民活動支援センターへ  
応募締切:2月22日(木)※往復はがきで応募の場合は必着



花ざかりの桃畑



応募フォーム

## 大人のための朗読会@日吉の本だな

募集中!!

いざな  
～文学の世界に誘う旅へ～

日時:2月28日(水)1回目13:30～、2回目14:30～(各回30分/入替制)

会場:日吉の本だな(慶應義塾大学協生館1階:港北区日吉4-1-1)

対象・定員:朗読に興味をお持ちの方どなたでも・各回5名

参加費:無料 締切:2月15日(木)

朗読予定作品:1回目「弁財天の使」(菊池寛作)、2回目「ベロ出しチョンマ」(斎藤隆介作)

朗読の他、作者の紹介や作品解説もします。また朗読後に感想等の語り合いも。



応募フォーム



外村 幸子 先生  
(港北区まちの先生)

## 「港北区まちの先生」登録受付中!

募集中!!

さまざまな知識・経験や技術・技能をお持ちの皆さま!

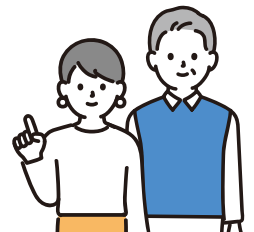
区内で実施される地域活動や学習活動に、まちの先生(ボランティア)となって生かしてみませんか? 手工芸・美術・健康・ダンス・音楽など、分野はさまざま。

現在約130名が「まちの先生」に登録されています。この機会に是非ご登録ください。

登録方法等詳細は、区民活動支援センターのホームページをご覧ください。



ホームページ



## ご意見ご感想をお寄せください

港北区区民活動支援センター(港北区役所4階48番窓口)

〒222-0032 港北区大豆戸町26-1

TEL&FAX 540-2246

Eメール ko-center@city.yokohama.jp

★開館時間★ 月～金曜 8時45分～17時(土・日曜、祝日、年末年始除く)

港北区区民活動支援センター

検索

